

平成27年度 夢風船 事業実績報告書

1 はじめに

開設2期目の平成27年度は活動内容の充実を図りながら、地域のセーフティネットとしてより多様なニーズに対応していくための機能分化の準備期間として位置づけてスタートした。組織全体で方向性を確認しながら試験的に2グループに分けて活動を行うなど、シミュレーションは実施したが、利用者数がまだ少ないことや職員体制が不足していることもあり、具体的なプログラムの構築には至っていない。身体的介護が必要なグループとコミュニケーション支援が必要なグループの分割、また医療ケアへ向けた準備など、今後の利用者増に伴うニーズの多様化に迅速に対応する形で活動内容や組織体制の再編を行わなければならない。その適正な時期については28年度中に見通しを持ちたいと考える。

2 事業主体

- 1) 施設名 夢風船
- 2) 事業種別 生活介護
- 3) 所在地 東京都小平市小川町2-1931-1
- 4) 運営主体 社会福祉法人 未来
- 5) 利用定員 20人
- 6) 利用現員 14人（平成28年3月31日現在）
- 7) 法人認可年月日 平成14年12月11日
- 8) 事業開始年月日 平成26年11月1日
- 9) 職員 8名（平成28年3月31日現在）

- 3 基本理念 一人ひとりの自己実現の支援。
互いの尊厳の尊重と信頼関係の構築。
安心と希望の持てる生活。

4 事業内容

1) 基本方針に対する評価

基本方針

- (1) 日中活動の保障
- (2) 豊かな生活の支援
- (3) 利用者一人ひとりの主体的な生活の支援
- (4) 個別支援計画に基づいた計画的な支援
- (5) 利用者への相談支援
- (6) 安心できる将来への支援

目標であった利用者一人ひとりのニーズに合ったプログラムの提供については個別支援計画に基づき概ね実施できた。体調管理のため体重の減少が必要な利用者にはウォーキングを定期的に行い、リハビリにより機能維持が必要な利用者については家庭との連携の上、リハビリプログラムを実施した。また、作業活動を中心に行いたい利用者については資源回収や室内軽作業等を活動の中心に据え取り組むことが出来た。

相談しやすい雰囲気作りや、職員個々の直接支援及び相談対応能力向上については、利用者本人との関係性が構築され活動における相談への対応力は全般として向上が見られる

が、生活全般に関する相談については社会資源や制度の理解不足があり、また家族からの信頼についても、まだ十分に得ているとはいえない。

2) 重点課題に対する評価

(1) 活動プログラム及びグループの再編成

【計画】

利用者一人ひとりの支援ニーズを整理し、個別のニーズに沿った支援を行えるよう活動プログラムについて随時検討を行うとともに、共通項に沿い活動を以下の2つのグループに編成する。

- ・入浴、食事、排泄等の基本的日常生活動作の保障における身体介護を重要な支援に位置づけながら、本人が意欲的に社会参加活動を行えるよう支援するグループ。
- ・基本的な日常生活動作の支援を保障したうえ、自発的行動やコミュニケーションに対する支援を重要な活動するグループ。

【評価】

小平特別支援学校の高等部の実習生を多く受け入れることで身体介護が必要な利用者の活動プログラムについて具体的に検証することが出来た。PCを使った作業や車椅子での可能な作業などの開拓を行い、次年度以降の活動プログラムのイメージを作ることが出来た。また、活動グループを分けることについても年度後半より昼食を2グループに分けてとる試みをおこない、シミュレーションを行うことが出来た。グループを2つに再編成するには職員配置の増員が不可欠となり、生活支援員の2名増員が28年度に向けた課題となる。

(2) 職員のスキルアップ

【計画】

利用者一人ひとりの支援充実のため特に以下の2点を重点目標とする。

- ・本人や家族からの相談支援の能力の向上。
- ・直接支援能力の向上（安全確保及び危機管理、活動参加の支援、コミュニケーション等）

【評価】

利用者一人ひとりと丁寧に接することにより信頼関係が出来つつあり、利用者との良い関係が築けている。また、現場リーダーのきめ細かい指示やミーティングによる情報共有により直接支援能力が全般的に向上している。しかし、見守りや全体を視野に入れた個々の職員の動きや現場での判断能力など課題はまだ多い。

また家族からの生活に関する相談については対応力が不足しており、職員全体としてまだ信頼を得るに至っていないと感じている。

3) 実施事業

(1) 活動内容

- ・資源回収、弁当箱回収作業
- ・運動プログラム（水泳、ウォーキング）
- ・バイタルチェック（朝、夕）
- ・入浴（毎日実施）
- ・音楽教室（月2回）

(2) 行事（月1回）

- | | |
|----|----------|
| 4月 | 新社会人を祝う会 |
| 5月 | 外食・工場見学 |
| 6月 | 外食・科学館見学 |

7月 食事会・ショッピングモール散策
8月 川遊び
9月 食事会・ぶどう狩り
10月 外食・足湯体験
11月 旅行
12月 忘年会
1月 初詣・新成人を祝う会
2月 節分食事会・多摩湖ドライブ
3月 花見

5 開所状況

1) 開所期間 自 平成27年4月1日 至 平成28年3月31日

2) 開所日数

(1) 週開所日数 5日間
(2) 開所時間 午前9時～午後4時
(3) 年間延開所日数 242日間
(4) 平均活動時間 7時間

6 利用状況

(1) 利用者延人員 2,688人
(2) 1日平均利用人員 11.1人
(3) 体験実習者延人員 72人
(4) 1日平均実習人員 0.3人
(5) 実習者実人員 16人

7 利用者状況(平成28年3月31日現在)

1) 年齢

20歳未満 2名
20歳以上30歳未満 3名
30歳以上40歳未満 5名
40歳以上50歳未満 3名
50歳以上60歳未満 1名

2) 障害の状況

愛の手帳2度 13名 (内身障手帳所持 2名)
愛の手帳3度 1名 (内身障手帳所持 1名)
身体障害者手帳1級 1名 (内愛の手帳所持 1名)
身体障害者手帳2級 1名 (内愛の手帳所持 1名)
身体障害者手帳5級 1名 (内愛の手帳所持 1名)

障害支援区分

平均障害支援区分 5.0

3) 通所手段

送迎車利用 14名 (内交通機関併用1名)

4) 居住状況

管内居住 10名 管外居住 4名

5) 性別

男性 12名 女性 2名

8 利用者工賃

平均工賃 1人 月額 : 3,900円 日給 : 210円

9 余暇支援実習状況

1) 参加者 実11名 延べ126名

2) 延実施回数 : 86回

月別実施状況

4月 : 8回 ・ 9名 (延べ)
5月 : 10回 ・ 11名
6月 : 9回 ・ 13名
7月 : 8回 ・ 9名
8月 : 7回 ・ 16名
9月 : 4回 ・ 8名
10月 : 5回 ・ 8名
11月 : 7回 ・ 8名
12月 : 6回 ・ 12名
1月 : 6回 ・ 14名
2月 : 8回 ・ 10名
3月 : 8回 ・ 8名

内容別実施及び参加状況

カラオケ	13回	18名 (延べ)
入浴	10回	14名
散歩	17回	25名
ドライブ	10回	16名
電車	2回	3名
ボーリング	7回	8名
調理	12回	23名
外食	5回	5名
ゲームセンター	3回	3名
散髪	5回	7名
スイカ割り	1回	3名
プール	1回	1名

10 職員配置 (平成28年3月31日現在)

- ・管理者 1名 (常勤換算1.0)
- ・サービス管理責任者 1名 (常勤換算1.0) 管理者兼務
- ・生活支援員 7名 (常勤6名、非常勤1名 : 常勤換算6.8)
- ・看護師 1名 (非常勤 : 常勤換算0.3)

11 防災

災害時避難訓練を年3回実施した。